せたがや区議会だより

No.283
令和4年(2022年)1月1日
発行　世田谷区議会
〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL(5432)1111代表　FAX(5432)3030
https://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html

新型コロナワクチン３回目接種関連補正予算などを可決

第４回定例会

臨時特別給付事業関連補正予算を可決

第２回臨時会

区役所から撮影

新年のごあいさつ

世田谷区議会議長
下山　芳男

明けましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

猛威を振るってきた新型コロナウイルスは、全国の自治体が総力を挙げてワクチン接種に取り組んできた結果、昨夏をピークに大幅に感染者数を減らすことができました。しかしながら諸外国にみられるような感染再拡大の懸念はいまだ拭えず、今後も基本的な感染症対策はしばらく必要な状況が続きそうです。こうした中でも、区民生活と区内経済を着実に回復させるため、3回目接種の体制整備や保健所機能の強化、継続的な事業者支援などを区と緊密に連携し力強く進めてまいります。

昨年秋から長年の懸案であった本庁舎等整備事業が本格的にスタートしています。新庁舎は区民サービスの更なる向上を図るとともに、皆さまの安全と安心を支える災害対策拠点としての役割を果たします。令和9年の竣工に向け、安全着実に整備が進むよう区議会として注力してまいります。

区制施行90周年の節目を迎える本年が区政を飛躍させる年となるよう、目下の課題である行政のデジタル化や住民目線での地域行政の推進に加え、災害に強い安全安心な都市基盤の整備など、積年の課題も計画的かつ着実に進展させ、明るい世田谷の将来に向けて全議員が団結して取り組んでまいる所存です。

ご理解とご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

第４回定例会 議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。第４回定例会には、区長から23件の案件が提出され、全て可決しました。

※本紙に掲載する条例名は略称を使用しています。

●3年度補正予算　2件

○一般会計（第五次）
（賛成多数　賛成＝自民、公明、立憲、共産、生ネ、新風、減税、虹、世田谷、あらた、都ファ、国際、区守会、無所属　反対＝F行革）

コロナワクチンの3回目接種の実施やせたがやペイを活用した事業者支援の強化などに対応するため、歳入歳出予算それぞれに七八億八〇五四万四千円を追加する。五次補正後の予算額は三四三四億六九四〇万八千円となる。

○一般会計（第六次）
（全員賛成）
国の子育て世帯への臨時特別給付事業に対応するため、歳入歳出予算それぞれに四四億一四六二万五千円を追加する。六次補正後の予算額は三四七八億八四〇三万三千円となる。

●条例の改正　14件

○職員給与条例
（全員賛成）
○幼稚園教職員給与条例
（全員賛成）
○会計年度任用職員の給与・費用弁償条例
（全員賛成）
○区長等の給料条例
（全員賛成）
○監査委員の給与条例
（全員賛成）
○教育長の給与・勤務時間条例
（全員賛成）
○区議の報酬・費用弁償条例
（全員賛成）
―以上7件は、期末手当の支給月数を改定する。
○情報公開条例
（全員賛成）
区外在住者が情報開示請求する際に求めていた請求理由の明示を廃止することなど。
○手数料条例
（全員賛成）
長期優良住宅建築等計画の認定申請に係る手数料を変更することなど。
○保健所設置条例
（全員賛成）
世田谷保健所の位置を世田谷4-24-1に変更する。
○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例
（全員賛成）
書面での諸記録の作成や保存を電磁的記録により行うことができることとする規定を定めることなど。
○住環境整備条例
（全員賛成）
長期優良住宅の普及の促進に関する法律の改正に伴い、必要な規定を整備する。

〈8ページ〈続く〉

会派名等

自　民＝自由民主党世田谷区議団
公　明＝公明党世田谷区議団
立　憲＝世田谷立憲民主党区議団
F行革＝無所属・世田谷行革110番・維新
共　産＝日本共産党世田谷区議団
生　ネ＝生活者ネットワーク世田谷区議団
新　風＝新風・せたがやの風
減　税＝減税せたがや
虹　＝レインボー世田谷
世田谷＝世田谷無所属
あらた＝Setagaya あらた
都ファ＝都民ファーストの会
国　際＝国際都市せたがや
区守会＝区民を守る会
無所属＝無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

令和4年（2022年）年頭に当たって

議員の連絡先は
令和３年12月23日現在

自由民主党 世田谷区議団

明けましておめでとうございます。皆様には、日ごろから多大なるご指導、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本年、世田谷区は区制施行90周年を迎えます。先人たちが幾多の困難を乗り越えて築き上げてきた世田谷区を更に発展させ、次世代に胸を張って継承できる街にするためには、区民の皆様の声をしっかり受け止め、将来の行政需要を見据えた政策を積極的に展開する決断力と行動力が不可欠です。

私たち会派は、笑顔が溢れる日常生活を早期に取り戻すため、新型コロナ対策に全力で取り組むとともに、持続可能な区政運営に向けた行財政改革を徹底的に推進します。区民の皆様にとって真に必要な具体的政策については、以下のとおり取り組んでまいります。

●新型コロナウイルス感染症対策を強化し、安心して暮らせる街づくりを進めます。

①感染症対策の強化（保健所機能を強化するとともに、医療機関への支援を拡充します。）

②地域経済の活性化（区内事業者への経営支援を拡充します。）

③就労・起業支援（職住近接が可能な環境をつくります。）

④教育の充実（ＩＣＴを活用した教育環境の整備を推進します。）

⑤地域活動支援（お互いに支え合える地域の絆をつくります。）

●区民の生涯を通じたニーズにきめ細かく対応し、健やかに生活できる環境を整備します。

①スポーツ・文化の推進（東京2020大会のレガシーを継承するとともに、文化の街として更なる飛躍を目指します。）

②健康・長寿の推進（23区トップの健康長寿を目指します。）

③妊娠出産・子育て支援（生まれる前から子育てを支援します。）

④結婚・家族支援（結婚後も世田谷に住み続けたい人を応援します。）

⑤障がい児・障がい者施策の推進（個人の特性に応じた支援を充実します。）

●都市基盤の整備、安全・安心な街づくりなど、区民生活を支える「縁の下の力持ち」になります。

①道路・交通環境整備の推進（開かずの踏み切り解消など、「世田谷の弱点」を克服します。）

②都市基盤整備の推進（誰もが歩いて楽しい街をつくります。）

③防犯・交通安全対策の強化（安全・安心な暮らしを守ります。）

④防災対策の強化（首都直下地震や大型台風等の到来に対し、万全な備えを推進します。）

⑤みどりの保全（美しい自然を守り、未来に継承します。）

阿久津 皇
〒157-0073
砧8-2-24
080-3464-2911

石川 ナオミ
〒156-0056
八幡山3-23-26-102
5942-1285

おぎの けんじ
〒158-0093
上野毛4-13-11
090-4599-8946

加藤 たいき
〒154-0017
世田谷1-5-10
6674-2391

上島 よしもり
〒156-0052
経堂1-21-16-3F
6356-4344

河野 俊弘
〒154-0023
若林1-16-1-700
6805-4054

宍戸 三郎
〒156-0043
松原3-42-2-4F
3323-7223

下山 芳男
〒154-0011
上馬4-2-5
3418-2869

菅沼 つとむ
〒154-0015
桜新町1-14-18
3428-2161

畠山 晋一
〒156-0041
大原1-16-3-112
3466-7005

真鍋 よしゆき
〒157-0063
粕谷4-20-18-206
3300-3940

山口 ひろひさ
〒158-0082
等々力5-4-2-602
3702-1819

和田 ひでとし
〒158-0083
奥沢1-40-2
3720-3542

日本共産党 世田谷区議団

新年おめでとうございます。

昨年は都議選・総選挙でのご支援ありがとうございました。総選挙の5区6区は野党共闘候補が当選、共闘が発展しました。区議団は、コロナから命とくらしを守る区政の発展へ全力をあげます。

江口 じゅん子
〒156-0044
赤堤1-40-13-303
080-5383-0848

たかじょう 訓子
〒157-0062
南烏山2-8-2-104
090-6655-2003

中里 光夫
〒155-0033
代田4-33-1
090-4367-3294

生活者ネットワーク 世田谷区議団

あけましておめでとうございます。世田谷区を希望の持てるまちにすべく、生活の声を区政に活かし活動を続けます。

子育て・介護・障がい者支援など地域福祉を充実させます。気象危機は豪雨や熱波となり私たちの命を脅かしています。温度上昇を抑え自然再生可能エネルギーの更なる利用を進めます。ごみの分別、みずとみどりを守る提案を重ね、足元から環境を守っていきます。子どもの権利を守り、ジェンダー主流化を進め、格差や分断を克服した共生社会の実現を目指します。今年もよろしくお願いいたします。

金井 えり子
〒154-0017
世田谷1-16-16-301
3420-0737

高岡 じゅん子
〒154-0017
世田谷1-16-16-301
3420-0737

田中 みち子
〒154-0017
世田谷1-16-16-301
3420-0737

ことを根幹に区政運営を求め、ＰＣＲ検査の拡充、保健所体制強化、酸素ステーションの設置、ひとり親などの経済困窮世帯への支援、せたがやペイを通した3万円の事業者支援など実現しました。また、長年求めてきた小学3年生での35人学級が4月からスタートします。皆さんと力を合わせ命とくらしを守る区政の発展へ全力をあげます。

新風・せたがやの風

新年おめでとうございます。

未来を意のままにできるか、と言えば、それはとてもできません。でも、これから何が起ころうともしっかりと生き抜いていける、それも仲良く楽しく。これは私達一人一人の問題であると共に、政治の課題でもあります。私達は決意を新たに致します。皆様方のこの一年が実り豊かで楽しさに包まれますことをお祈り申し上げます。

小泉 たま子
〒157-0068
宇奈根3-14-28
3415-0305

つるみ けんご
〒154-0003
野沢4-14-4
6322-0575

減税せたがや

区民の命を守る「ワクチン接種」と「ＰＣＲ検査や抗体検査」の着実な執行、「無駄」を排し「デジタル化」による生産性向上と手続の簡素化など、経済再生と区民生活を取り戻す提言に挑戦実行します。

あべ 力也
〒157-0076
岡本1-38-14-306
3412-1021

世田谷無所属

謹賀新年　コロナ禍のピンチをチャンスに！知恵を絞り、五感を働かせ、変化に柔軟に対応してまいります。そして常に聴く耳を持ち、皆様の声を反映させてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

ひうち 優子
〒155-0033
代田6-6-22-102
3466-3858

Setagaya あらた

新年あけましておめでとうございます。コロナ禍で生まれた様々な地域の変容と課題を捉え、世田谷の未来につながる政策提案・実現に全力で取り組んで参ります。本年もよろしくお願い致します。

佐藤 美樹
〒156-0045
桜上水4-18-25
6379-8300

都民ファーストの会

コロナ以前に時代を巻き戻すことなく、浮き彫りになった行政の前時代性をテクノロジーを用いて持続可能となるよう、ＩＴ出身・最年少議員として従来の常識に囚われない建設的な提案を続けます。

そのべ せいや
〒158-0097
用賀3-25-18
090-6939-7273

明けましておめでとうございます

公明党 世田谷区議団

あけましておめでとうございます。日頃より公明党への温かなご支援、誠にありがとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、長期間にわたる緊急事態宣言は私たちの日常生活や社会経済活動に多大な影響を及ぼしました。その間、昼夜を問わず懸命に働いてくださった医療従事者を初めとする多くのエッセンシャルワーカーの皆さまのご尽力により、新たな生活へと向かいつつあります。これからはコロナで傷んだ地域社会をどのような道筋で再生していくのか、公明党として、新型コロナウイルス感染予防と社会経済活動を両立していくための具体的な提案を皆さまへお示しします。①新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた3回目のワクチン接種の円滑な体制づくりや医療・療養体制の整備を着実に進めます。②新公会計制度を活用した全事業のフルコスト分析を行い検証した上で、民間を活用した運営形態や費用対効果、ニーズとの整合性など徹底的な見直しを実施し、生み出された財源を大胆に還元していく行財政改革を目指します。③行政手続のデジタル化を加速させ、区役所の窓口業務の改善を図り、諸手続の簡略化を目指します。④〝身近なまちづくりセンター〟が、区民のお役に立つ地区の拠点として防災・福祉・子育てを中心とした地域行政の整備を進めます。本年も公明党世田谷区議団は、生活現場の最前線で「小さな声・声なき声」に耳を傾け、政策実現に向けて粘り強く努力を重ねてまいります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

いたい ひとし
〒158-0087
玉堤1-16-28
3704-8405

岡本（おかもと） のぶ子（こ）
〒156-0054
桜丘4-25-17-210
3427-0557

河村（かわむら） みどり
〒157-0061
北烏山8-2-16-104
3307-4884

佐藤（さとう） ひろと
〒157-0071
千歳台3-21-14
3482-7732

高橋（たかはし） 昭彦（あきひこ）
〒156-0044
赤堤2-30-12
3327-0443

津上（つがみ） 仁志（ひとし）
〒154-0024
三軒茶屋2-28-11
5787-6162

平塚（ひらつか） けいじ
〒154-0022
梅丘2-8-9
3420-0240

福田（ふくだ） たえ美（み）
〒158-0094
玉川3-21-3-401
5797-9825

世田谷立憲民主党区議団

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症対策が続く一年が終わり、新たな年を迎えました。

本年は、引き続きコロナ感染拡大への対応に加え、区民生活への影響を最小限にし、全ての区民が豊かな日々を送ることが出来るよう、区政を前進させる具体策を提案、実現してまいります。

外出自粛が続く中、縮小されてきた区民参加の機会の保障や地域のコミュニティ・居場所づくり、さらに高齢者を中心とした健康悪化への対応もコロナの影響として、対応策を推進いたします。また、気候変動対策では廃プラスチック焼却の見直しなど実効性ある取組み、障害者差別禁止条例制定に向けた議論、子どもの権利の視点にたったインクルーシブ教育の実現、災害対策も欠かせません。今後の新たな課題として、DX推進では個人情報保護も重要な視点です。

さらに、区民生活の向上のためには区財政の健全化は欠かせません。政策提案とともに歳出削減の提案も合わせて行います。会派所属議員一人ひとりが区民の代弁者として、区民の声を届ける努力を続けてまいります。ぜひ、皆様のご意見をお聞かせください。

この一年、予測不可能なことにも臨機応変に対応し、区政の前進に邁進（まいしん）してまいります。

何卒宜しくお願い申し上げます。

桜井（さくらい） 純子（じゅんこ）
〒157-0062
南烏山5-10-5-301
3326-1321

いそだ 久美子（くみこ）
〒157-0066
成城6-16-12-303
070-4075-6458

中塚（なかつか） さちよ
〒156-0054
桜丘5-22-15-414
090-5576-7113

中村（なかむら） 公太朗（こうたろう）
〒158-0081
深沢3-26-4
090-4840-8877

中山（なかやま） みずほ
〒154-0015
桜新町1-25-25
080-4634-2547

羽田（はねだ） 圭二（けいじ）
〒158-0092
野毛3-6-22
3702-3550

藤井（ふじい） まな
〒154-0012
駒沢2-12-1
080-1085-3624

無所属・世田谷行革110番・維新

迎春。私たちは税金の無駄遣い、行政の不正などをただす旗のもとに結集した、大庭正明、田中優子、桃野芳文、ひえしま進、の4名からなる交渉会派です。

頻繁な著書の出版、1日に数十回にも及ぶツイッター投稿など政治パフォーマンス優先の保坂区長と対峙（たいじ）し具体的かつ現実的な施策を提言し続けています。特に新型コロナ対策では医学的、合理的根拠がないにも関わらず多額の税金が浪費される「社会的検査」に区議会で唯一反対し代替策を提言し続けました。今年も首都直下地震、風水害、感染症など、様々な災害から区民の皆様を守るため力を尽くします。引き続き保坂区政を厳しくチェックするとともに建設的な議論をリードして参ります。本年も私たちにご期待ください。

大庭（おおば） 正明（まさあき）
〒157-0063
粕谷3-15-3
3307-1179

田中（たなか） 優子（ゆうこ）
〒156-0043
松原4-34-20-309
3322-8131

ひえしま 進（すすむ）
〒156-0055
船橋5-14-7
080-4806-9024

桃野（ももの） 芳文（よしふみ）
〒157-0066
成城4-33-2-202
6751-1781

レインボー世田谷

慶春。一人会派の議員でも条理を尽くした議論で多くの成果が上げられます。本当に困っている人ほど声を上げることが難しい。マイノリティだった体験を伸びやかに暮らせる社会づくりに活かします。

上川（かみかわ） あや
〒156-0051
宮坂2-26-24-203
5799-7765

国際都市せたがや

迎春。今年の干支「壬寅（みずのえとら）」には、厳冬を越えて芽吹き、成長する意味合いがあります。感染症を乗り越え、子どもから高齢者まで生き生きと暮らせるまちを目指します。ご多幸をお祈り申し上げます。

神尾（かみお） りさ
〒154-0003
野沢2-8-1
080-3354-4648

区民を守る会

迎春。区民を守る会は、誰もが安心して暮らせる町の実現を目指し、NHKから皆様を守る活動に加え、特殊詐欺等の犯罪行為や、新型コロナ、自然災害に対する施策の強化に取り組みます。

くりはら 博之（ひろゆき）
〒154-0017
世田谷4-26-10-101
090-4208-1218

無所属

新年明けましておめでとうございます。今年は寅年。次世代を担う若者たちが未来を信じ、社会全体が明日に向かって羽ばたく一年になってほしいと思います。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

青空（あおぞら） こうじ
〒156-0041
大原1-39-1
3485-2726

代表質問

11月29日の本会議で、４名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団 真鍋 よしゆき 議員

コロナワクチン3回目接種の懸念

質問 国はワクチン3回目接種に際しファイザー社ワクチンの不足分をモデルナ社の交互接種で補う方針だ。副反応の懸念による一層のワクチン不足にどう対応するか。

副区長 区民が安心して接種できるよう安全性や有効性を周知する。

円滑なワクチン接種予約への工夫

質問 区はこの間のワクチン接種予約の反省点を3回目接種にしっかりと生かすべきだ。電話回線の増設に加え、通じやすい時間帯を案内するなど一層工夫せよ。

住民接種担当部長 様々な対策を組み合わせ円滑な予約受付に取り組む。

かかりつけ医の有用性の啓発強化

質問 かかりつけ医や歯科医、薬局は継続的な健康管理に有用だが、20～30歳代には浸透していない。三師会と連携し啓発動画を作成するなど様々な手法で普及を図れ。

保健福祉政策部長 医師会などの協力の下、更なる周知や啓発に努める。

建設業の発展に資する入札改革

質問 入札制度改革には過度な価格競争を是正し区内建設業の健全な発展につなげる視点が重要だ。4年度の試行では対象案件を拡大しつつ早期に本格実施に移行せよ。

財務部長 4年度末を待たずに試行結果を検証し早期の拡大を図る。

一歩踏み込んだ商店街加入促進策

質問 商店街未加盟店が集客イベントや街路灯整備などの便益を費用負担なく受けることに不公平感が生じている。商店街加入促進に向け一歩踏み込んだ対策を講じよ。

経済産業部長 商店街連合会と共に加入促進策の点検や検討を行う。

道路整備推進に向けた区長の姿勢

質問 区内の狭くて危険な道路は区民の一番の困り事として長年の課題だ。進捗が滞っている下北沢駅前広場や恵泉通りの整備では区長自らが地権者との交渉に当たれ。

区長 整備完了に向け自らの行動も含め取り組んでいく決意である。

まちを分断する開かずの踏切解消

質問 開かずの踏切はまちを分断し人や緊急車両の通行を妨げている。京王線や大井町線の高架化の早期実現に向け、区長は関係者への働きかけや合意形成に尽力せよ。

区長 都や関係区、鉄道事業者と連携し開かずの踏切解消に臨む。

区民目線に立った地域行政改革

質問 地域行政制度はDX推進により手続の在り方を変革すべきだ。電子機器の使用に不慣れな方のため、まちづくりセンターで気軽に相談できる仕組みを早期につくれ。

区長 新たなまちづくりセンターを試行実施し全地区展開を目指す。

学校改築の着実な実施

質問 学校は35人学級への対応や避難所機能の充実が求められており、これ以上の改築の先送りは許されない。区は基金の活用などにより計画的かつ着実に実施せよ。

区長 経費縮減に努め国の補助金や基金を活用して着実に実施する。

私立幼稚園の保育料補助の見直し

質問 区内私立幼稚園の多くは定員割れに伴う収入減に対し、保育料を増額して補うため保護者の負担が増している。区は他区と比べ極端に低い保育料補助を増額せよ。

子ども・若者部長 保護者への補助額の見直しに向け前向きに取り組む。

障がい理解促進に係る条例の効果

質問 区は障がい理解促進や差別解消に関する条例を検討中だ。条例化により、親亡き後対策など、障がい者を取り巻く環境にどのような好影響がもたらされるのか。

副区長 施設整備や地域での受入れの促進などにつなげていきたい。

宅地化防止への戦略的な農地保全

質問 2022年の生産緑地指定解除を前に区内農地の約88%が指定を10年延長した。残りの農地の保全に向け、区による買取りや助成制度の充実など戦略的に取り組め。

副区長 庁内で連携しながら効果的な農地保全策の検討を進める。

公明党世田谷区議団 いたい ひとし 議員

コロナワクチン接種での移動支援

質問 我々は接種会場までの移動が困難な要介護度3以上の方への福祉タクシー券交付を求めてきた。当事者や家族からの強い要望を受け止め、3回目接種では実施せよ。

高齢福祉部長 車椅子を使う高齢者には迎車料補助などを給付する。

自宅療養者の命を守る体制強化

質問 新型コロナ第6波に備え自宅療養者の命を守る万全の体制が必要だ。電話診療や訪問診療などの円滑な実施に向け医師会などと緊密に連携しきめ細かに対応せよ。

副区長 区内約80の医療機関と区担当課がつながる体制を確立した。

全新BOP学童クラブの民営化

質問 我々は時間延長など多様なニーズに応えるため新BOPの民営化を求めてきた。区は大規模化解消のための一部民営化にとどまらず全ての新BOPを民営化せよ。

副区長 大規模校から民間誘致を実施し放課後の場づくりを進める。

新たな介護人材の掘り起こし

質問 介護人材不足の解消は喫緊の課題だ。無職や介護未経験者などに返済免除付で就職支援金を貸し付ける国の事業などを周知し新たな人材の掘り起こしに注力せよ。

高齢福祉部長 動画の活用など様々な介護人材事業を一層周知する。

介護人材定着に向けた区独自支援

質問 低賃金で働く介護職員にとって奨学金の返済は大きな負担だ。都の介護職員奨学金返済・育成支援事業の補助期間を延長するなど、区独自の追加支援を講じよ。

高齢福祉部長 一層の制度周知を図り区独自の追加支援も検討する。

災害時の自助力向上

質問 災害時の在宅避難の重要性に鑑み、自助力向上が重要だ。住宅改修時の災害対策費用を補助する国の長期優良住宅化リフォーム推進事業を広く周知し活用を促せ。

豪雨対策推進担当参事 区や国の制度を周知し被害防止などに一層取り組む。

働く女性の自殺防止対策の強化

質問 働く女性の自殺増が深刻だ。民間の支援団体とも連携し、悩みを抱える方を孤立させないきめ細かなセーフティネットを構築せよ。

生活文化政策部長 相談者に寄り添えるよう民間団体との連携を深める。

学校改修での複合的な課題の解決

質問 厳しい財政状況に鑑み、巨費を投じる学校改修は戦略的に進めることが肝要だ。35人学級への対応や新BOPの狭隘化解消にも資する総合的な改修計画を立てよ。

教育総務部長 改築などの優先順位に配慮し様々な手法を検討する。

地域課題解決に向けた組織づくり

質問 まちづくりセンターには地域の課題解決やネットワークづくりにつながるコミュニティソーシャルワーク機能が必要だ。地域行政推進条例に権限などを明記せよ。

区長 同機能をまちづくりセンターの充実を図る中で位置づけたい。

本文中で使用している省略表記

東京2020大会＝東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

清掃一組＝東京二十三区清掃一部事務組合

あんすこ＝あんしんすこやかセンター

世田谷立憲民主党区議団 藤井 まな 議員

コロナワクチン3回目接種の対応

質問 コロナワクチン3回目接種は2回目とは別のワクチンを打つ交互接種や接種間隔の例外的運用などこれまでとは異なる。区民が混乱しないよう丁寧に対応せよ。

区長 区報のワクチン特集号など、分かりやすく丁寧に周知を重ねる。

在宅避難を想定した電源の確保策

質問 大災害では大多数の区民が在宅避難を強いられる。情報収集で有用なスマートフォンの電源確保策として蓄電池の普及を図れ。

危機管理部長 電源確保の必要性を強くPRし、推進に取り組む。

公契約条例に係る下限額の引上げ

質問 区内の経済対策として賃金を上げ、内需を拡大し、お金を循環させることが重要だ。公契約適正化委員会の提言を真摯に受け止め労働報酬下限額を引上げよ。

区長 委員会の意見を十分尊重し、地域経済の活性化などに取り組む。

区内事業者への税制度に係る対策

質問 2023年10月から商取引での消費税控除には税率や税額などを記したインボイスでの証明が必要だ。証明を発行できない免税事業者が排除されないよう対策を講じよ。

経済産業部長 事業者が制度開始までに対応できるよう周知を図る。

実社会で役立つ教育の充実

質問 ブラックバイトや業務委託契約での配達など若者の労働力搾取の様な働かせ方に危機感を覚える。区は労働者教育に力を入れよ。

教育長 働く意義を実感できるよう地域や企業と連携し実現を図る。

学校主事業務民営化での公的責任

質問 区立小の学校主事業務の性急な民営化は、公共が担うべき責任の流失や劣化が危惧され、むやみに結論を出さず更なる熟議が必要だ。公的責任への見解を示せ。

教育政策部長 委託しても児童の学習環境整備は区の責務と考える。

無所属・世田谷行革110番・維新 田中 優子 議員

保坂区政における不祥事への謝罪

質問 さきの衆院選の際に投票箱の置き間違えにより6票が無効になるなど区では深刻な不祥事が後を絶たない。区長は記者会見での謝罪のみで事は済んだとの認識か。

区長 多大な迷惑をかけたことを区民や議会に改めてお詫びする。

後遺症アンケートの有意義な活用

質問 新型コロナの後遺症アンケートを区が調査結果としてまとめただけでは意味がない。結果を基に後遺症による労災認定の手続を支援するなど具体的に活用せよ。

保健所長 区の報告書を国へ提供し円滑な労災認定などを要望した。

DX行政の実現に向けた進捗状況

質問 我が会派はさきの議会で渋谷区が進めるLINEを活用したDXの仕組みを区でも早期に構築するよう求めた。進捗状況を示せ。

デジタル改革担当部長 2021年内を目途にセグメント配信の準備を進めている。

民生委員の確保に向けた報酬支給

質問 高齢者の支援には民生委員の協力が不可欠だが、成り手不足が深刻だ。確保策として報酬が必要。例えば、年金相当の月6万円を支払う場合の予算規模を示せ。

保健福祉政策部長 現状の年間予算額から約3億6000万円の増額となる。

民生委員確保に向けた区長の見解

質問 DX推進の過渡期である今こそ民生委員の力が必要であり成り手不足解消に向けた予算確保を優先すべきだ。区長は英断せよ。

区長 現状でいいとは考えておらず、改善に向けて努力したい。

正確性を欠いた区長のツイッター

質問 区長は個人ツイッターで新型コロナ治療薬として有効性が不明確な薬の使用を推奨する旨の情報を発信し区民をはじめ全国に混乱を招いた。首長として猛省せよ。

区長 都医師会会長の見解を踏まえており、不正確な内容ではない。

一般質問

11月30日及び12月１日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

中山 みずほ 議員（立憲）

新庁舎におけるZEB化の推進

質問 新庁舎は環境負荷の少ない持続可能な建物とすべきだ。創エネ手法などを積極的に導入し建物の年間エネルギー消費量収支ゼロを目指すZEB化を着実に進めよ。

答弁 地球温暖化対策や脱炭素につながる取組を積極的に進める。

DVを受ける女性への支援強化

質問 DVを受けながらも経済的な理由で別居や離婚に踏み切れない女性が加害者から離れて暮らせるよう支援が必要だ。生活支援策や居住支援策の強化を検討せよ。

答弁 母子生活支援施設の機能を強化し、生活支援などを充実する。

境界領域知能の子どもへの支援

質問 知能指数が正常域と障害の境にある境界領域知能の子どもは健常児との見分けがつきづらく支援が行き届かない。早期発見と理解促進に向け支援体制を構築せよ。

答弁 教員の理解促進や指導力向上、専門チームの支援充実を図る。

金井 えり子 議員（生ネ）

区施設での統一的な環境対策

質問 人体と環境に優しい石けんや除草剤を区施設で使うよう区に求めたが、積極的な対応が見られない。区は施設管理委託の仕様書などに統一的な対策を明記せよ。

答弁 事業者の協力につなげるため明記することは有効だと考える。

学校給食での食品の安全性確保

質問 遺伝子操作によるゲノム編集食品が流通しているが人体への影響は不透明だ。区は子どもの健康を守るため安全性が不確かな当該食品の学校給食での使用を防げ。

答弁 ゲノム編集食品であることが判明できる場合は使用を控える。

避難所における障害者支援

質問 国分寺市では障害特性や必要な支援を記したバンダナを障害者に配布し災害時に支援を得やすい環境を整えている。区も障害当事者と共に支援グッズを作製せよ。

答弁 他自治体の取組や当事者の意見を参考に調査研究を進める。

佐藤 ひろと 議員（公明）

プラスチックのリユース化の徹底

質問 循環型社会の実現に向け区施設でのプラスチックの再利用を徹底すべきだ。区は事業者に施設運営を委託する際の仕様書に、再利用を義務づける内容を明記せよ。

答弁 運営事業者に理解や協力を求める形で仕様書への明記を図る。

長期継続契約の活用

質問 コロナ禍で様々な公共物の維持管理を担う事業者が経営難にある。今後契約の際は、事業者の経営安定をはじめ区の経費抑制にも資する長期継続契約を採用せよ。

答弁 安全や作業の質確保に向け、業務に適した契約方式を検討する。

小水力発電導入実現に向けた方策

質問 小水力発電導入に係る国の補助制度創設を機に、全国で導入事例が増えている。電力の地産地消の推進に向け、区内での実現可能性を探るための調査を実施せよ。

答弁 民間事業者への調査依頼を含め地産地消の可能性を探る。

ひえしま 進 議員（F行革）

災害対策の機能強化に向けた対応

質問 災害ボランティアを受け付けるボランティアマッチングセンターが十分機能するためには、災害を具体に想定した訓練などが不可欠だ。実施に向けた計画を示せ。

答弁 ボランティア協会などと調整し４年度早期に訓練を実施する。

募金活動を担う町会自治会の負担

質問 加入者減や高齢化が進む町会自治会にとって、赤い羽根募金などの募金集めを区から担わされることが重荷になっている。区はこの現状をどう認識しているのか。

答弁 地域の方からは募金活動への疑問の声があると聞いている。

離婚家庭親子の面会交流支援

質問 離婚家庭では親権を失った親と子どもの交流機会が減ることで、子どもの成長に支障を来すおそれがある。面会交流支援を行う他自治体に倣い区でも実施せよ。

答弁 法改正の動きを注視し、区の役割を見極め必要な支援を行う。

田中 みち子 議員（生ネ）

児童相談所への第三者評価の導入

質問 区の児童虐待に係る相談件数は年々増加している。児童相談所業務の質の向上を図るため、業務の客観的評価ができ国も推進する第三者評価を早急に導入せよ。

答弁 他自治体の取組なども注視し、実施に向けた検討を進める。

不登校の子どもへの進路支援強化

質問 不登校の子どもと保護者は進路選択に大きな不安を抱えている。３年度から実施し好評だった進路説明会の開催数を増やすなど、進路情報の提供機会を拡充せよ。

答弁 ３年度の実施状況を踏まえ、情報提供の内容や機会を拡充する。

重たすぎるランドセルの改善

質問 ランドセルの重量化はタブレット端末の導入で一層加速した。登校が憂鬱な児童もいる現状を踏まえ、学校に持ち帰る教科書の統一的な対応を促すなど改善を図れ。

答弁 児童の身体に合った通学かばんの使用などを学校に周知する。

そのべ せいや 議員（都ファ）

保育園での昼寝の強制見直しを

質問 ３～５歳に本来不要な昼寝が強制されると柔軟な保育園や幼稚園と３年で1500時間の経験差が生じる。個々人のリズムや成長の観点から区として午睡方針を見直せ。

答弁 乳幼児期の教育・保育実践コンパスを活用した取組を進める。

学校に「起立・気を付け」必要？

質問 世界中で軍隊・警察消防程度しか使わない「気をつけ・前ならえ」といった教練を何故未だ区立校で標準に使うのか。創造性を競う時代に同質化の訓練は害悪だ。

答弁 ルールやマナーを守る場面で活用することは大切だと考える。

本気で個性を尊重する気はあるか

質問 多用する号令は国の方針でもなくビジネスマナーとも矛盾し、礼儀にもならない。軍隊・工業時代の歯車を作る手法を信奉し、どう個性の時代の人材を育成するか。

答弁 急速な社会変化などを踏まえ多様な学び方の手法を検討する。

和田 ひでとし 議員（自民）

首都直下地震に備えた避難所強化

質問 首都直下地震発生時は区内でも多数の避難者が出ることは明らかだ。避難所運営の体制強化に向け町会との連携強化など可能なことから確実かつ迅速に進めよ。

答弁 避難所運営委員会と良好な関係を築き体制を強化していく。

清掃工場の災害対策機能の強化

質問 世田谷清掃工場の建て替えに合わせ災害対策機能の強化を図るべきだ。帰宅困難者受入れへの対応や充電設備の導入などに取り組むよう清掃一組に働きかけよ。

答弁 清掃一組との協議の場を通して可能な範囲で協力を求める。

奥沢地区における風景づくり

質問 区は奥沢地区の特徴を生かした風景づくりに向け、町並みの保全に係る基準を設ける界わい形成地区制度を４年度に導入予定だ。区が目指すまちの将来像を示せ。

答弁 地域から愛される風景として将来へつながるよう取り組む。

たかじょう 訓子 議員（共産）

生活保護制度の分かりやすい啓発

質問 区民が生活保護の相談をためらわず安心してできるよう正しい理解の啓発が必要だ。札幌市に倣い扶養照会が義務でないこともポスターに記し区施設で掲示せよ。

答弁 ポスターによる手法も参考に更なる周知方法を検討している。

子どもの医療費無償化の対象拡大

質問 子どもの健やかな育ちの保障と高校進学に伴う家計への負担軽減のために、既に多くの自治体で医療費無償化の対象を18歳まで拡大している。区でも検討せよ。

答弁 他自治体の例を研究し、健やかな育ちの保障に向け取り組む。

岩崎学生寮周辺樹林地の保全

質問 区は緑地公園として岩崎学生寮周辺敷地の取得を目指す中、民間活用での整備も検討中だ。利益追求により樹林地を損なわぬよう整備手法も住民を交え検討せよ。

答弁 地域住民の声を十分に聞き、地域特性や課題などを踏まえ行う。

高岡 じゅん子 議員（生ネ）

若者の主体的な政治参加の促進

質問 若者も関心が高い環境問題をテーマに政治参加を促すべきだ。自身の行動で社会を動かす実感を得られるよう、若者環境フォーラムでの提案を区の政策に反映せよ。

答弁 地球温暖化対策地域推進計画の見直しに若者の意見を生かす。

みどりと水を守る取組の推進強化

質問 みどりと水の保全を事業者に求める環境配慮制度を推進すべきだ。環境保全への取組の評価項目に水循環の保全などの視点を加え環境負荷に配慮した行動を促せ。

答弁 地球温暖化対策計画との整合を図りながら検討を進める。

せたがやそだちの魅力向上

質問 農地保全に向け区内産農産物「せたがやそだち」の消費を促す取組が必要だ。農薬を控えた農法や障害者施設での加工品販売などを広報しブランド力を高めよ。

答弁 せたがやそだちの価値を向上させる新たな取組を検討する。

河野 俊弘 議員（自民）

三軒茶屋駅周辺のまちづくり推進

質問 区は９月に三軒茶屋駅周辺のまちづくり基本計画素案を示すとともに区民とのオンライン意見交換会などを行い機運醸成に努めてきた。その後の取組状況を示せ。

答弁 歩行者の滞留空間として道路の一角を活用する実験を行った。

eスポーツを活用した施策の推進

質問 ゲームの対戦競技であるeスポーツが大会開催での経済効果や介護予防につながると注目されている。区は運動と組み合わせるなど工夫を凝らした施策を進めよ。

答弁 パラスポーツなどと組み合わせた事業展開について検討する。

喫煙所設置に係る補助の見直し

質問 喫煙者も非喫煙者も心地よい環境実現に向け喫煙所整備を行う企業を後押しすべきだ。喫煙所清掃という雇用創出も視野に設置経費に加え維持管理費も補助せよ。

答弁 雇用創出の観点も含め、維持管理経費の支援を検討する。

阿久津 皇 議員（自民）

福祉的視点での交通不便地域対策

質問 区は交通不便地域対策として砧地区でのコミュニティバス運行を検討中だ。高齢者の地域参加促進、障害者や子育て支援にもつながるため福祉所管も関与せよ。

答弁 都市整備領域と密に情報交換するなど積極的に関与していく。

せたがやペイの普及促進策

質問 せたがやペイは行政と連動できる点を強みに普及を図るべきだ。地域活動参加によるポイント付与など政策経営部が旗振り役となり、全庁的に活用策を検討せよ。

答弁 様々な施策に取り入れるよう全庁横断的な取組を働きかける。

犯罪抑止の観点での防犯対策強化

質問 区内で発生した鉄道での刺傷事件を受け、国は防犯カメラ画像の解析による不審者検知機能の高度化を図る方針だ。犯罪抑止効果が高まるよう区でも取り入れよ。

答弁 最新の技術や知見も踏まえ効果的な防犯カメラ活用に努める。

一般質問

中里 光夫 議員（共産）

参加と協働に対する区長の認識

質問 参加と協働は道半ばだ。今後「参加と協働を深化させる」とした区長の姿勢は重要だ。これまでの参加と協働の取り組みについて、区長はどう認識しているのか。

答弁 参加と協働の取組は着実に根づきつつあるが課題も多くある。

個人情報保護法改正に伴う対応

質問 今般の個人情報保護法改正は国の基準を地方に強制するもので地方分権に逆行する。区の保護水準の低下を招きかねない。地方の独自規定の保障を国に求めよ。

答弁 課題などが明らかになった場合は積極的に国へ改善を求める。

民間学童誘致の再検討

質問 区は新BOP（ボップ）学童クラブの大規模化解消などを目的に民間学童を誘致する方針を示したが、保育の質や区の責務などの検討が不十分だ。区民を交え再検討せよ。

答弁 保護者などの意見を伺うとともに議会にも報告し進めていく。

江口 じゅん子 議員（共産）

酸素ステーションでの医療強化を

質問 第6波に備え、病床拡充、医療が受けられる酸素ステーション、往診・訪問看護の体制強化が必要だ。酸素ステーションでの抗体カクテル療法を求める。

答弁 カクテル療法を含めステーションで行うべき処置を検討する。

松沢病院の独立行政法人化中止を

質問 独法化・公社化した病院では医師不足や大量退職が起き、地域医療の後退につながっている事例がある。独法化の影響は大きく、区長は都に独法化中止を求めよ。

答弁 引き続き従来の役割を果たすよう都に今後も求めていく。

不登校の当事者の実態把握を

質問 不登校対策の支援計画には、子どもに寄り添い、多様性や個性を認め、保護者も包含する視点が必要だ。しかし実態把握は不十分であり、教育長の見解を示せ。

答弁 アンケートの活用など当事者の声を把握し支援策に反映する。

菅沼 つとむ 議員（自民）

私立幼稚園の保育料補助の増額

質問 区内私立幼稚園の保護者はコロナ禍で収入が減り幼稚園への支払いの負担感が増したが、区の保育料補助は目黒区の10分の1で極端に少ない。直ちに増額せよ。

答弁 保護者負担軽減や幼稚園運営安定化のため前向きに検討する。

グラウンドの夜間利用の拡大

質問 世田谷公園グラウンドは夜間利用できる区内でも貴重な施設だが、冬季は午後5時までしか使えない。施設の有効利用の観点から、通年で午後9時まで開放せよ。

答弁 近隣住民への配慮を前提に夜間延長の可能性を検討する。

上用賀1丁目の国衛研跡地の活用

質問 上用賀1丁目の国立医薬品食品衛生研究所の解体工事が2022年9月に終了予定だ。跡地は地元まちづくり協議会と策定した地区計画に沿い災害時の避難場所とせよ。

答弁 土地利用の転換後も広域避難場所としての機能維持を図る。

羽田 圭二 議員（立憲）

社会全体を包摂する仕組みの構築

質問 区政運営に参加と協働が一層求められる中、今後は社会全体を包摂する制度づくりに当事者を含めた多様な意見を集約していくことが必要だ。区の見解を示せ。

答弁 時間や労力を惜しまず包摂的な社会を実現すべきだと考える。

学年を越えた学び合いの推進

質問 中里小では異学年で学級編成するイエナプランを参考に総合学習や短時間学習を行い児童の学び合いや教員間の協力につながっている。今後の教育政策に生かせ。

答弁 この間の成果などのデータを集積し教育施策の立案に生かす。

街路整備事業での住民参加の徹底

質問 街路整備事業は、まちを分断するなど周辺住民に大きな影響を及ぼすことが多い。歩道整備や町並み形成などのまちづくりを進める際は住民参加を徹底せよ。

答弁 魅力あるまちづくりを目指し参加と協働で街路整備を進める。

ひうち 優子 議員（世田谷）

ワクチン3回目接種の体制整備

質問 コロナワクチン接種は職域接種や診療所での接種、余剰ワクチン接種など工夫を凝らし拡充してきた。この間の経験を生かしより万全な体制で3回目接種に臨め。

答弁 接種実績を踏まえた体制を整え、円滑な予約と接種に努める。

幼児期からの交通安全教育の推進

質問 自転車などの交通ルールは幼児期から継続して学ぶことが大切だ。子どもの発達段階に合わせた内容の安全教室を開催するなど、交通安全教育を一層拡充せよ。

答弁 地域イベントなどを活用し、幼児向け交通安全教室に取り組む。

下北沢への図書館カウンター拡充

質問 私が再三求めてきた下北沢への図書館カウンターの整備がようやく始まり、駅の近くで本を借りられるなど区民の利便性向上が期待される。整備の進捗を示せ。

答弁 2022年3月下旬の開設に向け、運営事業者の選定を進めている。

中村 公太朗 議員（立憲）

入札制度改革による透明性の確保

質問 区が示した新たな総合評価方式入札では採点に係る工事成績評定が優良工事上位10件しか公表されていない。恣意的な点数操作が疑われないよう完全に公開せよ。

答弁 評価対象の項目や工事の全ての評価公表に向け準備を進める。

国際交流を中止した学年への対応

質問 子どもにとって国際交流は多文化理解につながる貴重な経験だ。コロナ禍で小中学生の海外派遣が中止となり行けなかった学年にも、交流の機会を再度提供せよ。

答弁 機会を逃した子どもを次年度の派遣対象とするなど検討する。

多角的視点での災害備蓄の見直し

質問 近年流通している非常食は、技術革新により数十年間の長期保存が可能だ。区は災害用備蓄品の選定を費用対効果や定期入替えの手間など多角的な視点から見直せ。

答弁 見直しに向け避難所運営や女性目線も踏まえて検討している。

小泉 たま子 議員（新風）

全庁でのワンストップ窓口実現

質問 区長の言う「区民に時間を返す改革」の柱であるワンストップサービスの提供は全事業で実現すべきだ。改革の名に恥じぬよう全庁的な連携体制で推進せよ。

答弁 両副区長の下、全庁体制で行政サービス改革の検討を進める。

全庁一丸での地域行政改革の推進

質問 地域行政改革で地区に縦割り行政を持ち込んではならない。地域行政推進計画の策定に当たっては実現への道筋を描いた上で責任者を定め、全庁一丸で臨め。

答弁 望まれる姿を構想し副区長トップの庁内体制で検討していく。

都市整備に係る予算の安定確保

質問 区の都市整備関連予算は年によって大きく減少しており、区民の生命と財産を守る上で問題だ。区の将来を見据え着実に整備が進むよう、予算の安定確保に努めよ。

答弁 都市基盤整備のスピードを緩めないよう予算を確保する。

あべ 力也 議員（減税）

世田谷が地価下落ワースト独占!?

質問 都内の地価下落率ワースト10は岡本3丁目など区内の基準地が独占した。区長は世田谷の相対的魅力と価値の低下をしっかり自覚し、どのように再生を図るのか。

答弁 良好な住環境や先駆的な取組などを区の魅力として発信する。

都の軽自動車税増税提言に反対！

質問 地方自治法により課税権が区にあるにもかかわらず、都税制調査会は一方的に軽自動車税の増税の提言をしており、反対だ。区も看過せずに立場を明確に示せ。

答弁 都が措置を講じる際は課税権を有する区の考えを明確に示す。

鉄道での無差別凶悪事件再発防止

質問 区内を通る鉄道での無差別凶悪事件を受け、区民を守る安全対策に加え、社会からの拒絶感など犯人の精神面からの対策も講じる必要がある。区長の見解を示せ。

答弁 孤立しても再び社会に戻れる仕組みが地域に必要である。

いそだ 久美子 議員（立憲）

自宅療養者の安否確認体制の強化

質問 新型コロナ第5波の際、保健所で安否確認の訪問ができなかった罹患者が自宅で死亡した。あんすこや民生委員と連携し人手を増やすことで訪問体制を強化せよ。

答弁 庁内外を問わず協力を求めており確実な訪問体制を構築する。

ものづくり学校の退去者への対応

質問 ものづくり学校との賃貸借契約終了に伴い、施設の入居事業者は退去が必要だ。引き続き区内で事業を続けられるよう産業振興公社が移転先などの相談に応じよ。

答弁 ものづくり学校に加え産業振興公社でも相談に対応していく。

ビジネスプランコンテストの改善

質問 せたがやそだち加工品ビジネスプランコンテストへの参加は企画から製造計画までが必要でハードルが高い。企画だけ募集し優秀作のみ商品化に移すなど見直せ。

答弁 アイデアが多く出されるようコンテストの在り方を検討する。

神尾 りさ 議員（国際）

里親が安心して生活できる取組

質問 里親による家庭養育の推進に向け具体的な取組が必要だ。里親になってもこれまでの生活が続けられるよう、保育入園時の配慮や相談体制の強化などに取り組め。

答弁 相談支援体制の強化も含め、家庭養育の場の充実に取り組む。

教育総合センターでの教員育成

質問 教育での複雑な課題の解決には地域の力も必要だ。教育総合センターが担う教員育成は、地域での子どもの育成も視野に教員が地域と関係を深める視点で進めよ。

答弁 地域との連携の重要性や地域理解を深める内容の研修を行う。

都から区への教育人事権の移管

質問 都から児童相談所移管を実現した区として今後は世田谷らしい特色ある教育の展開に向けて、教育人事権の移管も目指すべきだ。区長は他区と連携し議論を進めよ。

答弁 区長会での議論を重ね論陣を張り都と交渉し成果を上げたい。

加藤 たいき 議員（自民）

高齢化社会の支援の在り方

質問 少子高齢化の進展により現役世代の負担が増すばかりか、出生数減少の加速化も懸念される。子育て支援を充実するなど現役世代向けの施策を一層強化せよ。

答弁 高齢者や現役世代のバランスを意識して基本計画を考える。

コロナワクチンの情報発信の充実

質問 ワクチンの3回目接種は供給量の関係から希望の種類を打てない場合が想定される。区民が不安を抱かぬよう特性の違いや交互接種の効果について十分周知せよ。

答弁 区のおしらせなど様々な媒体を活用し必要な情報を周知する。

野鳥への給餌（きゅうじ）行為の厳罰化

質問 条例で野鳥に給餌しないことを区民の努力義務として定めているが抑止力がなく地域での被害は減っていない。条例の厳罰化や忌避剤（きひざい）の配布など対策を強化せよ。

答弁 パトロールの強化や被害地域への忌避剤（きひざい）の配布など検討する。

一般質問

青空　こうじ 議員（無所属）

川場村との交流の更なる発展

質問　多くの区民に親しまれている川場村との縁組協定が40周年を迎えた。コロナ禍で交流機会が減ったが100年先も交流を深めていけるよう川場村との絆を一層強めよ。

答弁　次世代につながるよう川場村との絆を更に力強く発展させる。

川場村と連携した環境対策の推進

質問　大人には子どもたちに豊かな環境を守りつなぐ責任がある。川場村の木質バイオマス発電によるエネルギーの区民利用推進など、村と連携した環境保全策を進めよ。

答弁　環境問題への関心が高まるよう、今後も着実に取組を進める。

児童生徒の不登校や自殺の予防策

質問　コロナ禍での家族関係の悪化や学校活動の制限などにより児童生徒の不登校や自殺が増加した。不安を抱える子どもを救うために、区立校ではどう対策しているのか。

答弁　児童生徒へのアンケート実施や相談機能の充実を図っている。

福田　たえ美 議員（公明）

気候変動を踏まえた豪雨対策強化

質問　野川流域の豪雨対策は喫緊の課題だ。整備予定の外環道東名JCTから野川への急激な雨水流出を抑制するため、大規模調節池の整備などでき得る対策を講じよ。

答弁　外環道整備事業者と共に流出抑制施設の設置を調整する。

地域に合った交通不便地域対策

質問　宇奈根喜多見地区のバス路線の運行形態を日中からオンデマンド型に変更予定だ。区は事業者と連携し地域に即した運行方法で交通不便地域の解消に取り組め。

答弁　民間と連携した様々な手法で安全で継続した運行に取り組む。

障害児の移動支援事業の運用改善

質問　区外に通学する障害児は、移動支援事業1か月の通学利用上限23時間を優に超えてしまったため、経済的負担が大きい。総支給40時間の中で柔軟に使えるよう改めよ。

答弁　対象者の把握や財源確保などの課題整理に努め検討していく。

宍戸　三郎 議員（自民）

区の特殊詐欺防止対策の現状

質問　世田谷は23区内で10年連続して特殊詐欺被害が最多で、2021年は件数、金額ともに急増しており、被害を防ぐ特殊詐欺撲滅対策が急務だ。区の現状とその対策を示せ。

答弁　高齢者を対象として自動通話録音機を無償貸与している。

詐欺被害防止への民生委員の協力

質問　特殊詐欺対策として非常に有効な自動通話録音機の貸出し数が低調だ。普及に向けては民生委員による高齢者への啓発が効果的だと考えるが、区の認識を示せ。

答弁　民生委員のふれあい訪問実施後は貸出し数が伸びている。

民生委員の担い手確保への方策

質問　民生委員は地域の相談役として安全安心な暮らしを支える重要な存在だが、担い手不足が深刻な状況だ。区は民生委員の視点に立って実効性ある確保策を講じよ。

答弁　民生委員の意見を聞き担い手確保の効果的な手法を検討する。

桃野　芳文 議員（F行革）

検査キットの区の不適切な活用

質問　抗原検査簡易キットは有症状者に有用であり無症状者の感染確認用ではないと国や医師が示した。区は何を根拠に無症状の児童生徒をキットで検査しているのか。

答弁　区の報告書からは無症状者にも一定の有効性があると考える。

児童養護施設退所者支援の方向性

質問　児童養護施設退所者への奨学金の原資である寄附金が1億8000万円に上る中、区が活用したのは5年で僅か1500万円、受給者は年10名未満だ。今後の活用方針を示せ。

答弁　対象者や対象経費などの拡充に向けて更なる見直しを行う。

保育園入園選考の調整基準の是正

質問　保育園の入園選考において、入園中の2歳児が3歳児で新たな認可園を希望する際、在籍園が認可か認可外かで指数に14点もの差がつく現状は不公平だ。改めよ。

答弁　公平性の確保に加え様々な方の理解を得られるよう検討する。

上川　あや 議員（虹）

図書館障害者サービス案内の改善

質問　同サービスの栞は墨字版。音声版、点字版はなく、音声コードはあるが、それを知らせる切り欠き加工もなく不鮮明で使えない。視覚障害者に伝わる広報に改めよ。

答弁　音声コードだけでなく、音声版や点字版の作成にも取り組む。

コロナ禍で1年半休止の対面朗読

質問　対面朗読を止めたままの区は23区中、当区を含め5区だけだ。8区はマイクとスピーカーで別室を準備するなど工夫している。当区も持参資料を対象に加え再開を。

答弁　様々な手法を活用し、条件の整った図書館から順次再開する。

電子図書館「サピエ」の個人開放

質問　自宅に居ながらにして豊富な音声図書等に親しめるサピエだが区立図書館はその登録館になりながらも個人会員を受け付けぬ姿勢のままだ。その不親切を改めよ。

答弁　指摘を受け、サピエの個人会員登録の受入れを可能にした。

くりはら　博之 議員（区守会）

NHK放送受信料免除の周知徹底

質問　NHK放送に係る強引な契約や取立てから生活保護受給者を守るため、生活保護のしおりを活用して免除制度の周知を図ることが有効だ。区での周知状況を示せ。

答弁　保健福祉センターでの配布やホームページでも周知している。

子どもの自殺を未然に防ぐ対策

質問　2年度の児童生徒自殺者数は過去最多の415名であった。コロナ禍における家庭環境の急変や将来への不安、孤独など自殺の背景にある問題への対策を強化せよ。

答弁　細やかな対応に向け教育総合センターの相談体制を強化する。

世田谷一家殺人事件解決への取組

質問　21年前に発生した世田谷一家4人強盗殺人事件は未解決のまま。広島県の事件が20年越しに解決したことに鑑み、区も事件を風化させず解決に向け尽力せよ。

答弁　警察と連携を図り事件解決に向けた支援を積極的に実施する。

つるみ　けんご 議員（新風）

ワクチン接種の円滑な予約受付

質問　区は前回のコロナワクチンの予約受付で電話がつながらないなどの事態を招き、多くの区民を長時間待たせた。次の3回目接種こそは待たせない体制を構築せよ。

答弁　様々な対策を組み合わせ、区民を待たせない体制を整える。

行政のたらい回しゼロ実現を

質問　区長が招集挨拶で述べた区民に時間を返す改革には、ワンストップサービス導入による行政のたらい回しゼロ実現を期待する。この改革の具体的な方向性を示せ。

答弁　たらい回しとならないことを含め区民視点での変革を目指す。

防災無線を用いた行方不明者対策

質問　他自治体では行方不明者の捜索時に防災無線で呼びかけを行い早期発見につなげている。区民の命を守る最終的なセーフティネットとして防災無線を活用せよ。

答弁　他自治体の運用状況を参考に適切で効果的な運用に取り組む。

中塚　さちよ 議員（立憲）

若者と連携した投票率向上の取組

質問　他自治体では政治や選挙の意識啓発活動を行う若者団体などと連携し投票率向上を図る例がある。区も学生の活動団体などと共に若年層への投票支援を実施せよ。

答弁　団体の詳細な活動内容などを確認し連携の可能性を検討する。

介護事業所の助成申請への支援

質問　小規模介護事業所では人手不足から助成金の情報収集や手続が煩雑で実入りの少ない加算申請を諦めがちだ。ホームページも活用し情報提供と申請の支援を図れ。

答弁　申請書類の見直しや情報発信により、助成事業の利用を促す。

感染再拡大に備えた保健所の強化

質問　新型コロナ第6波に備え、自宅療養者支援に係る保健所体制の強化が必要だ。第5波での自宅療養者の声を十分受け止め、保健所との連絡手法などを改善せよ。

答弁　区民の意見を十分に分析し適切な療養支援の実施に備える。

佐藤　美樹 議員（あらた）

放課後事業における地域の重要性

質問　区は民間事業者による学校外での学童クラブ事業案を示した。拙速に事業化せず区が築いてきた地域と共に子どもを育む取組や意義を失わない制度設計をせよ。

答弁　子どもを支える地域の場や人との関係が保てるよう取り組む。

旧池尻中跡地活用の効果的な検討

質問　旧池尻中跡地活用の再検討では学校跡地という特性も十分考慮すべきだ。産業拠点はもとより、DXなどに取り組む事業者の学びと学び直しの拠点にも軸足を置け。

答弁　今後も新たな産業・学びの拠点としての活用を検討していく。

第6波に備えた自宅療養者対策

質問　区は感染再拡大時の自宅療養者対策として医療機関と保健所のどちらが往診するかといった調整機能を導入する。医学的知見の担保や調整情報の一元化は万全か。

答弁　医師会と連携を図るとともに国のシステムで情報管理を行う。

インターネット議会中継をご利用ください

本会議と予算・決算特別委員会の模様を区議会ホームページで、ライブ配信しています。

ライブ映像は、会議終了後、当日のうちに録画映像としてご覧いただけます。議員ごとに編集した映像は、会議のあった日からおおむね1週間後に配信します。

インターネット議会中継は、パソコンだけではなく、スマートフォンでもご利用いただけますので、臨場感あふれる映像をぜひご覧ください。

世田谷区議会　議会中継　で検索！

次回の定例会は2月下旬から開催する予定です

〈1ページからの続き〉

○公文書管理条例
（全員賛成）
区政の重要事項に関わる公文書を重要公文書に位置づけ、保存期間満了後は特定重要公文書として永久に保存するとともに、区民などの利用に係る規定を追加することなど。

○行政手続における個人番号の利用等条例
（賛成多数　賛成＝真、鎌、立憲、F行革、生ネ、新風、減税、虹、世田谷、あらた、都ファ、国際、区守会、無所属　反対＝共産）
個人番号を利用する事務として、心身障害者の医療費助成に関する事務を追加する。

●工事請負契約の締結　1件
○上祖師谷中耐震補強工事
（全員賛成）

工事名	相手方・契約金額
耐震補強	東京コーポレーション株式会社 一億七四九〇万円

工期＝4年11月30日

●工事請負契約の変更　1件
○仮称玉川地域拠点保育園新築工事
（全員賛成）
着工後の地中障害物の発見に伴い、工事計画を変更したため、工期を5年2月3日に変更する。

●指定管理者の指定　2件
○総合運動場及び大蔵第二運動場
（全員賛成）

施設名称	指定管理者
大蔵運動場	公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団
二子玉川緑地運動場	
大蔵第二運動場	

○図書館
（賛成多数　賛成＝真、鎌、F行革、生ネ、新風、減税、虹、世田谷、あらた、都ファ、国際、区守会、無所属　反対＝立憲、共産）

施設名称	指定管理者
烏山図書館	株式会社ヴィアックス
下馬図書館	世田谷TRC・東急コミュニティーグループ
経堂図書館	株式会社図書館流通センター

●協議　1件
○特別区人事及び厚生事務組合規約の変更に関する協議
（全員賛成）
救護施設の設置及び管理に関する事務を組合の共同処理事務として追加する。

●人権擁護委員候補者推薦の諮問　1件
（全員賛成）
田中京子（たなかきょうこ）氏、小泉孝大（こいずみたかお）氏を候補者として法務大臣あてに推薦することを可とする。

●教育委員会委員任命の同意　1件
（全員賛成）
鈴木（すずき）　奈保子（なおこ）（新任）

第4回定例会 請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

審議が終わったもの

◆採択したもの　1件
○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出に関する請願
（全員賛成）

新しく出されたもの

◆区民生活常任委員会に付託　1件
○地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情

◆福祉保健常任委員会に付託　1件
○都内の精神科医療センターの機能と役割を果してきている都立松沢病院を「都立として継続・存続」し、東京都がすすめる「地方独立行政法人化」の「実施見合わせ」を東京都に意見書の提出を求める陳情

第2回臨時会 議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。第2回臨時会には、区長から1件の案件が提出され、可決しました。

●3年度補正予算　1件
○一般会計（第七次）
（全員賛成）
子育て世帯や住民税非課税世帯などを対象にした臨時特別給付事業に対応するため、歳入歳出予算それぞれに一六一億九六一万四千円を追加する。七次補正後の予算額は三六三九億九三六四万七千円となる。

第2回臨時会 請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果をお知らせします。

◆趣旨採択したもの　1件
○地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情
（賛成多数　賛成＝真、鎌、立憲、F行革、新風、減税、虹、世田谷、あらた、都ファ、国際、区守会、無所属　反対＝共産、生ネ）

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置等の継続を求める要望書

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、我が国の経済は依然として厳しい状況下にあり、小規模事業者を取り巻く環境は、コロナ禍前にも増して、厳しく、深刻な状況であり、事業存続の危機に直面しています。

このような社会経済環境の下で、世田谷区内の事業者も、厳しい経営を強いられ、その生活基盤は圧迫され続けています。

こうした中、東京都が実施している、軽減措置、減免措置が廃止されることになれば、小規模事業者の経営や生活はさらに厳しいものとなり、地域経済への悪影響が懸念されます。

よって、世田谷区議会は東京都に対し、次の事項を実施されるよう要望いたします。

1. 小規模住宅用地に対する都市計画税の二分の一軽減措置を引き続き令和4年度以降も実施すること。
2. 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の2割減免措置を引き続き令和4年度以降も実施すること。
3. 商業地等における固定資産税・都市計画税について、負担水準の上限を65％に引き下げる減額措置を引き続き令和4年度以降も実施すること。

令和3年11月18日
東京都知事　あて

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。
TEL（5432）2779
FAX（5432）3030

議会日誌

閉会中に開催された委員会
11月5日(金) 議運
10日(水) 企画、区民、文教
11日(木) 福祉、都市
12日(金) DX推進、地域行政、スポーツ、公共交通
18日(木) 企画、文教、議運
26日(金) 企画
12月17日(金) 企画、区民、文教、議運
20日(月) 企画、福祉、都市、議運

会期中の主な会議日程
11月29日(月) 第4回定例会本会議（代表質問）、議運
30日(火) 本会議（一般質問）
12月1日(水) 本会議（一般質問、議案の付託、議案の議決、請願の付託）
2日(木) 企画、区民、文教
3日(金) 福祉、都市
6日(月) DX推進、地域行政、スポーツ、公共交通
8日(水) 本会議（議案の議決、議案の付託など）、企画、議運
21日(火) 第2回臨時会本会議（議案の付託、議案の議決など）、企画、議運

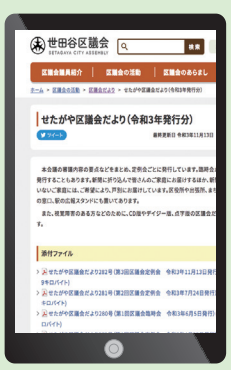
委員会名称
企画＝企画総務常任委員会　区民＝区民生活常任委員会
福祉＝福祉保健常任委員会　都市＝都市整備常任委員会
文教＝文教常任委員会　議運＝議会運営委員会
DX推進＝DX推進・公共施設整備等特別委員会
地域行政＝地域行政・災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
スポーツ＝スポーツ・交流推進等特別委員会
公共交通＝公共交通機関対策等特別委員会

区議会だよりのご案内

区議会だよりは、年4回開催される定例会ごとに発行しています。

新聞に折り込んでご家庭にお届けするとともに、ご希望の方には戸別にお届けするほか、まちづくりセンターなどの区の施設にも備えてあります。また、区議会ホームページからもご覧いただけます。

さらに、区議会だよりのデイジー版とCD版を発行しています。視覚障害のある方などで希望される方には定期的にお送りしています。なお、過去1年以内の発行分については区立図書館で貸し出していますので、ぜひご利用ください。また、区議会だよりの点字版も発行しています。こちらも区立図書館で貸し出していますのでぜひご利用ください。



本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会議録（第4回定例会の分は2月中旬、第2回臨時会の分は2月下旬の発行予定）をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。